

産・学・官の連携による「横浜市避難ナビ」の制作



一人ひとりの避難行動を平時「いま」から災害時「いざ」まで一体的に支援する全国初のアプリ！！

1 風水害における課題と取組

近年頻発する風水害への備えとして、市民の皆様が住んでいる地域の危険性を知り災害を自分事としてとらえ、備えていただく必要があります。

横浜市は、風水害時の一人ひとりの避難行動計画であるマイ・タイムラインの作成促進に向けて、浸水ハザードマップとあわせたマイ・タイムライン作成シートの全戸配布に加え、浸水や土砂災害の危険性のある地域への研修などの取組を進めています。

2 デジタル技術を活用した更なる支援

これまでの紙媒体を中心とした取組に加え、デジタル技術により避難行動を平時「いま」から災害時「いざ」まで一体的に支援するため、産・学・官の連携により「横浜市避難ナビ」を制作しました。

「横浜市避難ナビ」では浸水疑似体験（AR）によって「意識を醸成」し、マイ・タイムラインの作成など「事前の備え」を手軽に行えます。災害時には、マイ・タイムラインと連動した避難情報の通知により、適切な「避難行動」が取れるように支援します。

浸水疑似体験（AR）による「意識の醸成」をはじめとした、「事前の備え」から災害時の「避難行動」まで、市民の皆様の避難を一体的に支援できるアプリは全国初となります。

今後は、様々な機会を通じて利用促進に向けた周知を行うとともに、地域での防災研修等で「横浜市避難ナビ」を利用し、意見を集約しながら、機能改善を進めていきます。

※「横浜市避難ナビ」の特徴は裏面参照

3 プロジェクトの概要

1 プロジェクト開始

令和3年3月10日 3者協定締結

2 メンバー

メンバー	主な役割
ファーストメディア株式会社	システム構築
学校法人神奈川歯科大学	浸水疑似体験（AR）技術の提供
横浜市	マイ・タイムライン等のノウハウを提供

3 実施内容

- 令和3年4月から令和4年2月まで 仕様調整・システム構築
- 令和4年3月 「横浜市避難ナビ」の公開

※公開後、実証実験等を行い、機能の改善を進めます。

裏面あり

横浜市避難ナビ

「いま」から「いざ」に備えましょう!

横浜市避難ナビはいざ災害が起きた場合、適切な行動をできるように
平時「いま」から災害時「いざ」まで一体的にサポートするアプリです。



操作は簡単! 見やすい画面で ワンタッチで操作

プッシュ
通知



目で見て体験! 実際の災害に備えて

浸水状況を疑似体験



ハザードマップが 一目で分かる!

マップの種類を
簡単に切り替え



マイ・タイムラインを 作成して備えよう!

「災害時には避難情報を
マイ・タイムラインと連動して
プッシュ通知」



避難所を検索

避難所へのルートを案内
災害時には
避難場所の開設状況を
リアルタイムで確認



横浜市危機管理室 地域防災課
TEL : 045-671-3456

ダウンロード無料

横浜市避難ナビ 検索



お問合せ先

総務局地域防災課長 川島 正裕 Tel 045-671-3456